

1学期には「英検」と「漢検」に挑戦し、合格を勝ち取ろう

—ことばは力、英語と漢字はすべての教科の基本—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q1：開倫塾は「英検」「漢検」「数検」の「3大検定」に力を入れているそうですね。なぜですか。

A：(林明夫：以下省略)

(1)目標を持って各教科の学習に励んでもらいたいからです。

(2)「目標」は、ちょっとがんばれば達成できるものがよいです。「検定」試験に合格するという「目標」を立て、その学年か、次の学年に学習する内容を少し早めに学習して合格を果たすと、その教科が好きになり、もっともっと学習したくなります。また、自信につながります。興味・関心が深まるとその教科を一生を通じて学び続けたくなり、人生も豊かになりますよ。

(3)英語と漢字、数学はすべての教科の基本中の基本です。その学年と次の学年の内容ぐらいまでをなるべく早くに学習するのに、「英検」「漢検」「数検」は最適です。

(4)「数検」は秋以降にならないとその学年の内容をすべて学習し終えない人が多いので、1学期の受験は難しいと思われます。そこで、「数検」は2、3学期に受験することをお勧めします。

(5)しかし、「英検」と「漢検」は今からがんばって2～3か月間集中的に学習すれば、自分の学年にふさわしい級の合格が可能です。しっかりと学習して、この6、7月の「英検」と「漢検」で合格を果たしましょうね。

Q2：中学生と高校生は、全員が6月の「英検」に挑戦したほうがよいのですか。

A：はい、そうです。自分にふさわしい級を1年に1つ以上確実に取得してください。目安(めやす)は次の通りです。

(1)中1生は「英検5級以上の級に挑戦」

(2)中2生は「英検4級以上の級に挑戦」

(3)中3生は「英検3級以上の級に挑戦」

(4)高校生は「英検準2級以上の級に挑戦」

(5)高校生は卒業までに「英検準1級」合格を目指して英語をしっかりと学んでください。「英検3級」、「英検準2級」、「2級」、「準1級」と順序よく、3年間かけて自分にふさわしい級に

合格を果たしましょう。「英検」合格を目指しての英語の学習は、大学入試でも社会に出てからも役に立ちます。

Q 3 : 小学生は「英検」に挑戦しなくてもよいのですか。

A : (1)小学生は英語を学習し始めてすぐの6月7日(第1回)ではなく、10月11日(第2回)または2015年1月24日(第3回)の「英検」に挑戦することをお勧めします。

(2)小学生は「英検5級」から順序よく英語を学習し、「英検4級」、「英検3級」と自分にふさわしい級に挑戦することをお勧めします。今後は、学校でも小5・6生は正規の教科として週に2～3回英語を学ぶようになり、小3・4生は週に1～2回英語に親しむ学習を行うようになります。現在の小学生も英語をしっかりと学び、「英検5級」から順序よく続けるとよいと考えます。

(3)小1～3生も「英検5級」に挑戦しましょう。ただし、いきなり「英検」ではちょっとハードルが高いかなと思う人には「児童英検」をお勧めします。

(4)中学生は全員、「5級」、「4級」、「3級」と自分にふさわしい級にどんどん挑戦し、全員が1年に1つ以上の級に合格を果たしてください。「英検」合格に遠慮は一切不要です。例えば、小学生や中1生で既に「5級」を取得している人は6月7日の「英検」で「4級」に、中1生や中2生で「4級」を取得している人は「3級」に各々挑戦しましょう。

(5)来春の高校入試の受験生である中3生は、全員ができれば6月7日に「英検3級」に挑戦し、合格を勝ち取ること。高校生は、6月7日に「3級」、「準2級」、「2級」、「準1級」のうちの1つに挑戦し、合格を果たしましょう。

Q 4 : 「漢検」はどうしたらよいのですか。

A : (1)6月7日の第1回の「英検」を受験しない小1～6生は、全員が十分に学習した上で自分にふさわしい「漢検」の級に挑戦し、合格を果たしてください。試験日は6月7日です。

(2)中学生と高校生の全塾生は、7月11日に自分にふさわしい「漢検」に挑戦して合格を果たしましょう。

(3)小1生は「10級」、小2生は「9級」、小3生は「8級」、小4生は「7級」、小5生は「6級」、小6生は「5級」、中学生は「3級・4級」、高校生は「準2級・2級」が合格の目安です。自分にふさわしい級の合格を1年に1つ以上目指しましょう。2～3か月間かけて十分に学習すると合格できるのが「漢検」です。

Q 5 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 「英検」「漢検」「数検」は過去に出題された問題(過去問) 5年分を5回以上繰り返し、じっくりと取り組むことが合格のポイントです。

(2) 各検定試験の問題文は、作問者の先生方が心血を注いで作られたよい問題ばかりです。ですから、問題を解き終えたら、問題の本文すべてと解答の選択肢すべて、解答・解説のすべての文章を、学校の教科書を学習するていねいさで時間をかけて「理解」すること。「理解」した内容は、「音読」「書き取り」「計算・問題」の3大練習を繰り返してスミからスミまで正確に身に着けることです。

(3) 「練習は不可能を可能にする」の教訓は、「英検」「漢検」「数検」にもあてはまります。あとは、実行あるのみです。がんばりましょうね。

(4) 開倫塾は、全塾生が「英検」「漢検」「数検」の「開倫塾の3大検定」に挑戦し、合格を果たすことを全面的に支援します。自分にふさわしい級を確実に取得し、学力の大幅向上に役立ててください。

— 2014年3月14日記 —

(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)